

# 芝山の祭り

## その三 オビシヤ

### 新春の神事

1月から2月上旬にかけて、町内の各地区で「オビシヤ」という神事が行われています。オビシヤとは弓的を射てその年の豊作を占う行事であり、馬に乗り矢を射る「騎射」に対して、歩いて矢を射ることから「歩射」の字が当てられています。

関東地方のとりわけ千葉県で盛んに行われており、内容は多様で中には弓を射る神事が伴わないものもあります。町で行われているオビシヤは弓を射らないものです。昨年の広報3月号では白栴の男オビシヤと新井田の女オビシヤを掲載しましたが、今月号では殿部の男オビシヤと加茂の女オビシヤを取り上げます。

### 殿部の男オビシヤ

殿部の男オビシヤは1月6日に行われます。正午頃、ほら貝を吹いて地区内を回り、オビシヤの始まりを告げます。集会所に集まった地区の男性は、神主によ

る神事後、「酒相撲」を行います。これは地区の人たちが東西に別れ、行司2人の進行によって杯を開けていく儀式です。傍らには豆腐と海草が用意してあり、下戸の人はつまみにするそう。「今は酒を飲める人が少なくなったから、昔より杯が小さくなったんだよ」と地区の人は話してくれましたが、酒を飲みながら盛り上がる殿部の人々の様子は、昔と変わらないうように思えました。



酒相撲では外野から「もっと飲め」と声が飛ぶ

### 加茂の女オビシヤ

加茂の女オビシヤは、1月第3日曜日に行われます（今年は1月17日）。4つの班に分かれており、そのうち1班が当番となつて他の班のお客さんをもてなします。正午頃に集会所へ集まり、おはらいと玉串奉てんが行われます。これを取り仕切るのは「カミモト」と呼ばれる人で、世襲制です。これが終わると宴会となり、当番の人たちがお客さんに酒をついだり、話をしたりと接待をします。宴会がひと段落すると、汁椀のふたを杯にして酒を飲みます。これが終わると、「オツイダチ」を行います。カミモトをはさんで両親が健在な人と出産が近い人や子どもを授かりたい人が座り、杯を交わして安産や子孫繁栄を祈ります。



殿部の男オビシヤの飾りつけ



来年の当番の襟元に神様を入れる

続いて今年の当番と来年の当番が座り、当番の引き継ぎを行います。杯を交わした後、新しい当番は神様を襟元に入れ、家に着くまでは振り向くことはできません。宴会の最中に話を聞くと、以前は田楽を「タコ」「タル」というものに刺した飾りを作ったり、芸達者な人が演芸を行ったりと、今よりも大掛かりに行っていたそうですが、「現在は内容が簡素化していますが、地区全体の女性が集まる唯一の場なので、これからも続けていきたい」と話してくれました。



最後に皆で飾りを持ち上げる

## 「第33回芝山はにわ祭写真コンクール」 カメラ越しの古代

昨年「芝山はにわ祭」をテーマに開催された、「写真コンクール」。当日の悪天候にも関わらず、27名より103作品の応募がありました。プロカメラマンによる審査の結果、見事選出された優秀作品をご紹介します。(順不同・敬称略)



◎優秀賞（5作品）  
芝山町長賞  
『雨ニモマケズ』  
歌田 めぐみ（習志野市）



◎最優秀賞（1作品）  
芝山はにわ祭実行委員長賞  
『巫女舞』 南波 靖一郎（匝瑳市）



芝山町商工会長賞  
『未来を見つめて』  
高宮 貴彦（習志野市）



芝山町議会議長賞  
『未来を見つめて』  
池嶋 清（八街市）



芝山町教育委員会  
教育長賞  
『仲良し』  
江波戸 昭（匝瑳市）



芝山町観光協会会長賞  
『仲良し古代人の童』  
秋葉 俊秋（横芝光町）

- ◎特別賞（8作品）
- ・成田国際空港株式会社賞  
『雨に舞う』 青柳 幹市（東庄町）
  - ・千葉県観光物産協会賞  
『実りを捧ぐ』 柘原 勝男（八街市）
  - ・日本航空賞  
『ひよこと仲良し』 磯部 博之（匝瑳市）
  - ・全日空賞  
『真剣な舞』 大野 陽子（我孫子市）
  - ・日本オーチス・エレベータ賞  
『道が生まれゆく』 小澤 栄二（富里市）
  - ・ココヨ賞  
『巫女の舞』 泉 英伸（千葉市）
  - ・千葉県写真連盟賞  
『美少女』 角田 吉信（香取市）
  - ・九十九里地域観光連盟会長賞  
『気配』 山口 正明（南房総市）
  - ◎入選（1作品）  
『ハイ・タッチ』 米須 久彌（茨城県神栖市）

Congratulations